

アンチスパムインストール・アンインストール手順について

1 概要

ここでは、「ギデオン アンチウイルス アンチスパムPlus TLAS対応」の新規インストールと、「ギデオン アンチウイルス メールサーバ TLAS対応」にアンチスパム機能を追加インストールする方法について説明します。

2 アンチスパムPlusを新規にインストールする

TurboLinux Appliance Server1.0/2.0 に「ギデオン アンチウイルス アンチスパムPlus TLAS版」を新規にインストールします。

インストール

インストール方法

TLASパッケージ用ファイルをダウンロードします。

-----例-----

WEBブラウザからダウンロードしてインストールする場合、以下のURLを入力します。ダウンロードファイルは約43MBありますので、ダウンロードに時間がかかります。

ダウンロードファイルURL

<http://www.gideon.co.jp/download/gantisplamplus-tlas-3.1.0-01.i386.rpm>

(注)

CDからのインストールをおこなう場合は、お試し版のCDを当社ホームページよりご請求ねがいます。

<http://www.gideon.co.jp/>

Turbopkg からサードパーティ製品のインストールで上記のrpm ファイ

ルを選択してください。

アンインストール

アンインストール方法

Turbopkg から アンインストールを選択します。

3 インストール時のシステム変更

アンチスパムPlusをインストールする際に、次の項目が実行されます。それによりシステムの変更およびファイル名の変更などが生じます。

1. アンチスパムPlusが既にインストールされている状態では、インストールは行われません。
2. mailfltユーザ、およびmailfltグループがシステムに追加されます。
3. mailfltに関するファイル属性、設定ファイルが変更されます。
4. gwav/gwav-mtad以外の既存ファイルは、ファイル名.old.gasに変更となり、新しいファイルがコピーされます。
5. /etc/GwAV/ディレクトリ以下に存在する設定ファイルに、アンチスパムに必要となる箇所が追記されます。
6. Kaspersky AntiSpamで利用するデーモンを起動します。
7. gwav-mtadを停止、gwav/gwav-mtadを4の方法で置き換え、gwav-mtadを起動します。

4 アンチスパム機能動作までの手順

アンチスパムPlusを導入後、アンチスパム機能を正しく動作させるために、以下の手順に従い設定してください。

スパム判定で除外するグローバルIPアドレスの設定

アンチスパムPlusでは、受信したメールの直前のグローバルIPアドレスをチェックしてスパム判定を行います。

したがって本製品を導入したサーバと、外部との間に転送用その他のサーバが接続されている場合には、それらのグローバルIPアドレスをスパム判定対象から除外する指定が必要です。

「スパム判定で除外するグローバルIPアドレス」欄に、本製品を導入したメールサーバでメールを受信する経路上において、スパム判定しないグローバルなIPを指定します。

-----例-----

アンチスパム導入サーバ

外部MTA	自社受信メールサーバ	自社内部リレーメールサーバ
グローバルIP 1	グローバルIP 2	プライベートIP

上記の経路で外部からのメールを受信し、自社内部リレーメールサーバにアンチスパムを導入した場合を例にとります。

- ・アンチスパム導入サーバの直前におかれた自社受信メールサーバを、スパム判定対象外に指定します。グローバルIP 2を「スパム判定で除外するグローバルIPアドレス」に入力して下さい。その後[更新]ボタンをクリックします。

- ・外部MTAが転送目的のサーバであれば、グローバルIP 1も入力して下さい。

- ・プライベートIPはスパム判定には使わないため、グローバルIPのみを指定します。

受信経路の連続したスパム判定対象外メールサーバのグローバルIPを漏れなく記載する必要があります。

ユーザにスパムを配信しないようにする設定

「転送メール設定」の欄に以下の設定をすることで、ユーザにスパムメールが配信されないように指定できます。

- ・「転送下限スコアに達していたら転送」を選択
- ・「受信先への配信を停止する」にチェックマークをつける
- ・テキストボックスに転送対象アドレスと転送先アドレスを記述

-----例-----

@example.comが付くメールアドレスへのスパムメールを配信停止させたい場合は以下のように記述します。

@example.com spam@example.co.jp

上記設定を行うことにより、@example.com宛のスパムはspam@example.comに転送され、実際のユーザへの配信は停止します。ユーザーズガイド「2.3.4 詳細設定2」の説明を参照してください。

(注) 事前にメールサーバ上にspamというメールボックスが作成されている必要があります。

5 マニュアルのダウンロード

マニュアルはホームページよりダウンロードできます。

詳細はマニュアルをご参照ねがいます。

<http://www.gideon.co.jp/support>

なお、ご購入前の技術サポートは受けられませんのでご了承ください。